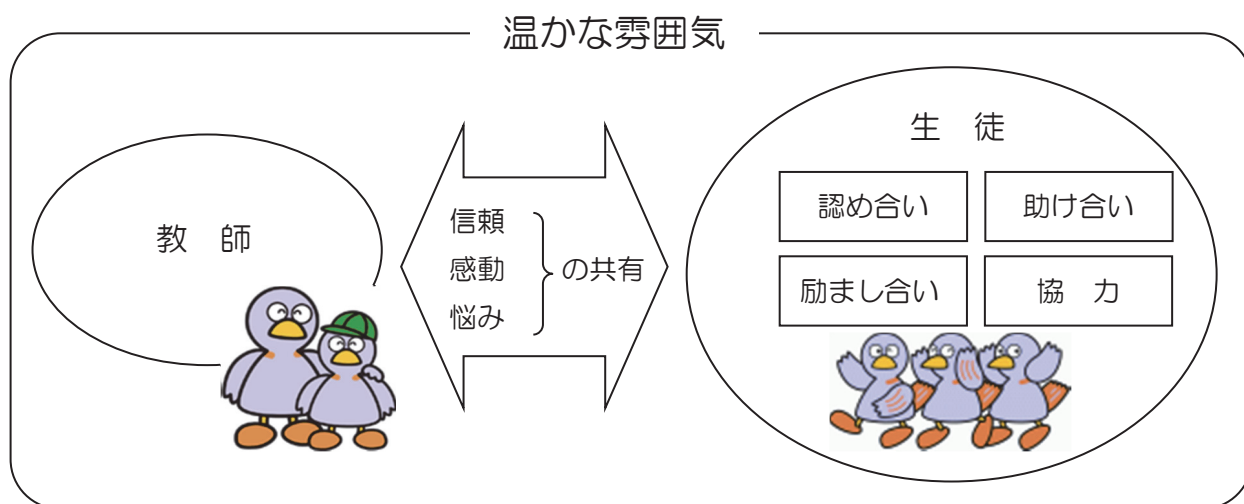


5 教師の心構え

信頼関係や温かい人間関係を基盤におく

道徳の時間の指導は、学級での温かい人間関係が基盤にあってこそ効果を発揮します。教師と生徒の信頼関係や生徒相互の人間関係を育て、一人一人が自分の感じ方や考え方をのびのびと表現することのできる雰囲気を、日常の学級経営の中でつくるようにしましょう。そのためにも、教師と生徒が共に語り合うことのできる場を日常から設定するようにすることが大切です。



生徒と共に考え、悩み、感動を共有し、学び合うという姿勢をもつ

道徳の時間は、生徒だけが考えるのではなく、教師も共に考える時間でもあります。生徒に教え込もうとするのではなく、教師自らが生徒と共に考え、悩み、感動を共有しながら、学んでいくという姿勢で授業に臨むことが大切です。

学習指導要領の解説には・・・

学習指導要領「第3章道徳」の「第2 内容」は、教師と生徒とが人間としてのよりよい生き方を求め、共に考え、共に語り合い、その実行に努めるための共通の課題である。

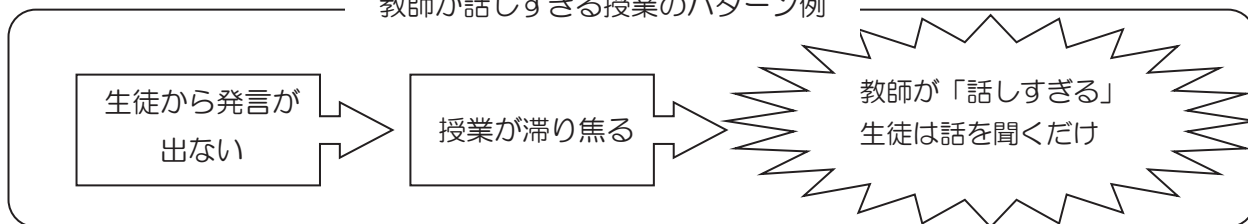
(第3章 道徳の内容 第1節 内容の基本的性格 1 内容のとらえ方)

生徒相互で聞き合い、討論することができる授業を目指す

教師は、生徒の考えを聞くだけでなく、生徒の話し合いの能力を高め、**生徒相互が聞き合い、討論することができるように工夫していくことが大切です。**そのためにはまず、生徒が主体的に発言できる支援が必要です。

○ 教師が話しすぎないようにしましょう。

教師が話しすぎる授業のパターン例



こうならないためには、**生徒の発言があるまで、じっくり「待つ」**ことです。
この「待つ」時間こそ、生徒が自分の考えを深める時間になります。

○ 一人一人の感じ方や考え方を広げたり深めたりしましょう。

教師の支援例

生徒が一生懸命考えたことは、しっかり受け止め、その考えを広げたり深めたりしていきます。

- ・「分かりません。」という生徒に対して・・・

→「もう少し時間をください。」
「考え中です。」

「考え中」「時間をください」という生徒には、その後、考えたことを必ず発言させるようにしましょう。

- ・「私もAさんと同じです。」
という生徒に対して・・・

→「私もAさんと同じで、～と思います。
理由は～だからです。」

理由を語らせることで、考えが整理できます。

- ・一人の考えを全体に広めるためには・・・

→教師：「Aさんの考えについて、みんなはどう思う？」

生徒同士の「話し合い」につながります。

- ・ねらいと相反する考えが出てきたときには・・・

→どうしてそのように考えたのか、教師が
一歩踏み込んで生徒に聞く。

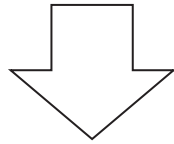
様々な考え方にふれるきっかけとなるので、大切に扱いましょう。

豊かな体験を通して内面に根ざした道徳性の育成を図る

職場体験活動やボランティア活動、自然体験活動などの豊かな体験を通して、生徒が実際の職場や社会集団、自然とのかかわりの中で自分と向き合い、社会の一員であることを実感することが大切です。それによって生徒の内面を揺り動かされ、新たな気付きや見方の広がりをもたらす豊かな体験の充実が求められています。

体験活動を充実させるために

- 体験活動を行うねらいや意義を十分に理解させ、活動についてあらかじめ調べたりすることなどにより、意欲をもって活動できるようにする。
- 体験活動を通して、事後に感じたり気付いたりしたことを自己と対話しながら振り返り、まとめたり、伝え合ったりすることなどにより、他者と体験を共有したり、広い認識につなげたりする。それぞれの学習活動での工夫を図ることを通して一層の充実を図る。



道徳の時間に体験活動を効果的に生かしましょう。

- 生徒の発達の段階等を考慮して、**体験活動を全体計画等に位置付け、実施できるようにすることが大切です。**
 - ・身近にいる多様な人々とかかわったり、自然への関心を強めたりした直接体験の機会を**道徳の時間の指導につなげる。**
 - ・集団宿泊活動等の中での協力する体験、交流する体験、自然に親しむ体験などにおける活動の深まりを、**道徳の時間での資料に基づく話合いに意図的に生かしたりする。**

生徒相互で聞き合い、討論することができる授業を目指す

人間としてよりよく生きていくための道徳性を育成する視点に立って、基本的な生活習慣や社会の中でのきまり、**基本的なモラルにかかわる道徳的実践の指導は、学校の教育活動全体を通して心掛けていかなければなりません。**

社会生活上のきまりを身に付け、善悪を判断し、人間として、してはならないことなどについて繰り返し指導する必要があります。

保護者や地域社会とも、連携を図って指導していきましょう。

家庭用「彩の国の道徳」を活用してみましょう

の巻に付けた生活習慣や学習習慣について、家庭で確認してみましょう。
教育に関する3つの達成目標

「規律ある態度」を身につけよう!

- 1 時刻を守る** (家庭では)
 - ① 下校時刻を守る事ができますか。
 - ② 授業や活動の始まる時刻を守る事ができますか。
- 2 身の回りの整理整頓をする** (家庭では)
 - ③ 机の上の整理整頓の仕方を覚えていますか。
 - ④ 机の上の整理整頓の仕方を覚えていますか。
- 3 進んであいさつや返事をする** (家庭では)
 - ⑤ 自分から挨拶やあいさつをすることができていますか。
 - ⑥ 相手の挨拶やあいさつに返事ができていますか。
- 4 ていねいな言葉づかいを身につける** (家庭では)
 - ⑦ 相手と接するときに、言葉遣いに気を使っていますか。
 - ⑧ 相手の言葉遣いに気を使っていますか。
- 5 学習のきまりを守る** (家庭では)
 - ⑨ 学習の時間や場所、学習のしぐさを覚えていますか。
 - ⑩ 学習の時間や場所、学習のしぐさを覚えていますか。
- 6 生活のきまりを守る** (家庭では)
 - ⑪ 人の家や公共の場では静かにし、歩道を歩かずに歩かれていますか。
 - ⑫ 人の家や公共の場では静かにし、歩道を歩かずに歩かれていますか。

「してはならないことがある」

だれもが、自分の夢をかなえたいと願っています。そのみんなの夢を大切にすることも、してはならないことがあります。そして...『事にむかっ!』はばたこう!

いじめる人をいじめさせない
いじめを受ける人をいじめさせない
いじめをいじめさせない
いじめを受ける人をいじめさせない

悪いことをしては いけません!
やらぬことは、やらぬものです。

家庭でのルールや約束ごとについて、家庭で確認してみましょう。
みんなでチェック!

○ 家族とあいさつをしますか。	はい	いいえ
○ 家族と食事をしていますか。	はい	いいえ
○ 家の手伝いをしていますか。	はい	いいえ
○ お小遣いなど、お金の管理をしっかりとっていますか。	はい	いいえ
○ スマートフォンや携帯、SNSの使い方のルールを、家族で決めていますか。	はい	いいえ
○ ゲームをするときのルールを、家族で決めていますか。	はい	いいえ
○ トラブルに巻き込まれたときにどうするか、家族で話し合っていますか。	はい	いいえ
○ 災害時にどうするか、家族で話し合っていますか。	はい	いいえ